



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

NM高等教育セミナー

田邊 修 博士

(University of Michigan Medical School・Assistant Professor)

転写因子によるグロビンスイッチングの 制御機構

2010年7月9日(金) 17時-18時
医学部5号館7階リフレッシュコーナー

田邊先生はグロビン遺伝子の時期特異的発現を規定する転写抑制因子DRED複合体を精製し、その主要構成因子である転写因子TR2/4の生体機能を解明してきました。本セミナーではTR2/4ヘテロ二量体によるグロビンサイレンシング機構について講演頂くとともに、造血幹細胞分化に関する新しい研究プロジェクトを紹介して頂く予定です。

参考文献

1. The TR2 and TR4 orphan nuclear receptors repress Gata1 transcription. Tanabe O, et al. Genes Dev. 2007 21(21):2832-44.
2. Embryonic and fetal beta-globin gene repression by the orphan nuclear receptors, TR2 and TR4. Tanabe O, et al. EMBO J. 2007 26(9):2295-306.

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 五十嵐 和彦(生物化学・内線7596)